

小松都市計画道路の変更（小松市決定）

都市計画道路 3・3・28 号小松駅東通り 1 号線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線道路	3・3・28	小松駅東通り 1 号線	小松市土居原町	小松市日の出町二丁目	—	約 560m	地表式	2 車線	22m	幹線街路と平面交差 3 箇所	
	構造形式の内訳		なお、小松市日の出町一丁目地内に約 6,000 m ² の小松駅東交通広場を設ける。								

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理由

3・3・28 号小松駅東通り 1 号線は、JR 小松駅と国道 305 号を結び、小松市のシンボルロードとして平成 4 年に都市計画決定された、約 6,300 m²の小松駅東交通広場(以下、駅東広場)を有する路線である。

駅東広場は、市施工の小松駅東土地区画整理事業により整備が進められ、平成 16 年 3 月に小松駅付近連続立体交差事業、小松駅西土地区画整理事業とともに一体的に完成した。

北陸新幹線金沢・敦賀間の延伸に伴う新幹線駅舎等の検討が鉄道建設・運輸施設整備支援機構により進められる中、これまで駅東広場と新幹線駅舎及び在来線駅舎との離隔は不要とされていたが、北陸新幹線（金沢・敦賀）駅・停車場設計指針により新幹線駅舎の保守管理及び上下水道管を埋設するため約 1.0～1.5m の離隔が必要となった。

今般、これらの新幹線計画の変更により、駅東広場の一部を新幹線用地とする必要が生じたため、駅東広場の面積約 6,300 m²を約 6,000 m²に変更するものである。

なお、面積減となった駅東広場においては、現在の広場機能を概ね確保できるよう、市が再整備を行うこととしている。

小松都市計画道路の変更（小松市決定）

都市計画道路 3・3・28 号小松駅東通り 1 号線を次のように変更する。

朱書きは変更前

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線道路	3・3・28	小松駅東通り 1 号線	小松市土居原町	小松市日の出町二丁目	—	約 560m	地表式	2 車線	22m	幹線街路と平面交差 3 箇所	
	構造形式の内訳		<p>なお、小松市日の出町一丁目地内に約 6,300 m²の小松駅東交通広場を設ける。</p> <p>なお、小松市日の出町一丁目地内に約 6,000 m²の小松駅東交通広場を設ける。</p>								

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理由

3・3・28 号小松駅東通り 1 号線は、JR 小松駅と国道 305 号を結び、小松市のシンボルロードとして平成 4 年に都市計画決定された、約 6,300 m²の小松駅東交通広場(以下、駅東広場)を有する路線である。

駅東広場は、市施工の小松駅東土地区画整理事業により整備が進められ、平成 16 年 3 月に小松駅付近連続立体交差事業、小松駅西土地区画整理事業とともに一体的に完成した。

北陸新幹線金沢・敦賀間の延伸に伴う新幹線駅舎等の検討が鉄道建設・運輸施設整備支援機構により進められる中、これまで駅東広場と新幹線駅舎及び在来線駅舎との離隔は不要とされていたが、北陸新幹線（金沢・敦賀）駅・停車場設計指針により新幹線駅舎の保守管理及び上下水道管を埋設するため約 1.0～1.5m の離隔が必要となった。

今般、これらの新幹線計画の変更により、駅東広場の一部を新幹線用地とする必要が生じたため、駅東広場の面積約 6,300 m²を約 6,000 m²に変更するものである。

なお、面積減となった駅東広場においては、現在の広場機能を概ね確保できるよう、市が再整備を行うこととしている。